



## 2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月11日

上場会社名 ポパール興業株式会社  
 コード番号 4247 URL <https://www.poval.co.jp/>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松井 孝敏

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 鈴木 哲彦

TEL 052-419-1827

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日

配当支払開始予定日

2022年11月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	1,814	2.1	191	14.4	208	15.0	134	17.4
2022年3月期第2四半期	1,776	2.9	223	12.5	245	14.1	162	5.6

(注)包括利益 2023年3月期第2四半期 184百万円 (0.7%) 2022年3月期第2四半期 185百万円 (0.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	51.04	
2022年3月期第2四半期	61.75	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	6,615	5,491	82.7	2,076.18
2022年3月期	6,517	5,357	81.9	2,026.41

(参考)自己資本 2023年3月期第2四半期 5,469百万円 2022年3月期 5,338百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		16.00		19.00	35.00
2023年3月期		18.00			
2023年3月期(予想)				18.00	36.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)2022年3月期期末配当の内訳 普通配当16円00銭 上場記念配当3円00銭

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,573	2.8	403	8.9	435	14.5	303	8.4	115.15

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注)詳細は添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期2Q	2,634,800 株	2022年3月期	2,634,800 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2023年3月期2Q	226 株	2022年3月期	226 株
------------	-------	----------	-------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期2Q	2,634,574 株	2022年3月期2Q	2,634,574 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、TDnetで同日開示するとともに、当社ホームページにも掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(会計方針の変更) .....	9
(セグメント情報) .....	10
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響から持ち直しの動きを見せたものの、混迷が続くウクライナ情勢、円安進行による原材料価格やエネルギーコストの上昇等の影響により、依然として景気の先行きが不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもとで、当社グループは「接着・樹脂加工を基盤とし、拠点相互のネットワークを最大限活かした成長事業、新規事業とグローバル展開」を基本方針として、「ソリューションビジネスの展開」「グローバル展開の推進」「成長事業・新規事業推進」「生産性の向上」「共感力の浸透」を目標に取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間は、自動車・鉄鋼業界を中心にベルト関連製品の受注が堅調に推移する一方で、ディスプレイ業界向け研磨部材の販売が減少しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,814百万円（前年同四半期比2.1%増）、営業利益は191百万円（前年同四半期比14.4%減）、経常利益は208百万円（前年同四半期比15.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は134百万円（前年同四半期比17.4%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### 総合接着・樹脂加工

総合接着・樹脂加工につきましては、自動車・鉄鋼業界を中心にベルト関連製品の受注が堅調に推移する一方で、ディスプレイ業界向け研磨部材の販売が減少しました。以上の結果、売上高は1,499百万円（前年同四半期比1.1%減）となりました。

#### 特殊設計機械

特殊設計機械につきましては、製造業での設備投資に対して依然として慎重な姿勢が見られるものの、受注は緩やかに回復傾向に推移しました。以上の結果、売上高314百万円（前年同四半期比21.0%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べて98百万円増加し、6,615百万円となりました。このうち、流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べて84百万円増加し、3,192百万円となりました。これは主に、現金及び預金が62百万円増加したことによるものであります。また、固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べて13百万円増加し、3,423百万円となりました。これは主に、機械装置及び運搬具が17百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて35百万円減少し、1,124百万円となりました。このうち、流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べて50百万円減少し、705百万円となりました。これは主に、その他（営業外支払手形・未払金等）が69百万円減少したことによるものであります。また、固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べて14百万円増加し、418百万円となりました。これは主に、退職給付に係る負債が7百万円、役員退職慰労引当金が5百万円増加したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて134百万円増加し、5,491百万円となりました。これは主に、利益剰余金が84百万円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて62百万円増加し、1,298百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、前年同四半期に比べ0百万円増加し、195百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が200百万円計上されたことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は、前年同四半期に比べ15百万円増加し、90百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が92百万円計上されたことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は、前年同四半期に比べ10百万円増加し、49百万円となりました。これは主に、配当金の支払額が49百万円計上されたことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年5月13日の「2022年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,235,978	1,298,096
受取手形、売掛金及び契約資産	869,631	805,973
商品及び製品	127,546	98,148
仕掛品	512,810	566,339
原材料及び貯蔵品	324,311	375,733
その他	38,357	48,881
貸倒引当金	△679	△463
流動資産合計	3,107,956	3,192,710
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,873,450	1,926,033
減価償却累計額	△1,145,771	△1,186,444
建物及び構築物(純額)	727,679	739,588
機械装置及び運搬具	1,354,426	1,418,218
減価償却累計額	△1,226,003	△1,272,349
機械装置及び運搬具(純額)	128,422	145,869
土地	1,600,716	1,610,277
建設仮勘定	14,997	7,029
その他	234,737	248,357
減価償却累計額	△206,205	△209,711
その他(純額)	28,531	38,646
有形固定資産合計	2,500,347	2,541,410
無形固定資産		
のれん	5,103	—
その他	5,652	7,593
無形固定資産合計	10,755	7,593
投資その他の資産		
投資有価証券	741,831	703,868
その他	157,695	171,469
貸倒引当金	△1,185	△1,185
投資その他の資産合計	898,340	874,152
固定資産合計	3,409,444	3,423,156
資産合計	6,517,400	6,615,867

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	339,664	352,003
短期借入金	20,000	20,000
未払法人税等	77,822	71,904
賞与引当金	73,033	85,961
その他	245,647	175,958
流動負債合計	756,168	705,827
固定負債		
役員退職慰労引当金	230,184	235,893
退職給付に係る負債	165,975	172,989
その他	7,799	9,507
固定負債合計	403,959	418,389
負債合計	1,160,127	1,124,217
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	179,605	179,605
資本剰余金	275,336	275,336
利益剰余金	4,649,581	4,733,988
自己株式	△189	△189
株主資本合計	5,104,334	5,188,740
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	162,037	136,900
為替換算調整勘定	72,357	144,211
その他の包括利益累計額合計	234,394	281,112
非支配株主持分	18,544	21,795
純資産合計	5,357,273	5,491,649
負債純資産合計	6,517,400	6,615,867

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	1,776,814	1,814,325
売上原価	1,092,530	1,161,839
売上総利益	684,283	652,486
販売費及び一般管理費	460,836	461,310
営業利益	223,447	191,175
営業外収益		
受取利息	130	141
受取配当金	12,977	9,411
受取賃貸料	4,845	1,412
為替差益	5,377	5,116
その他	1,444	995
営業外収益合計	24,775	17,077
営業外費用		
支払利息	32	35
賃貸収入原価	3,139	—
その他	0	5
営業外費用合計	3,171	41
経常利益	245,050	208,210
特別利益		
受取補償金	—	1,384
固定資産売却益	21	—
特別利益合計	21	1,384
特別損失		
固定資産除売却損	467	2,157
新型コロナウイルス対応による損失	—	7,267
特別損失合計	467	9,425
税金等調整前四半期純利益	244,605	200,170
法人税等	80,625	64,911
四半期純利益	163,979	135,258
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,287	795
親会社株主に帰属する四半期純利益	162,692	134,463



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	163,979	135,258
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,937	△25,136
為替換算調整勘定	7,815	74,310
その他の包括利益合計	21,753	49,174
四半期包括利益	185,733	184,432
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	183,037	181,181
非支配株主に係る四半期包括利益	2,695	3,251

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	244,605	200,170
減価償却費	53,925	58,998
のれん償却額	7,684	5,103
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	59	△217
賞与引当金の増減額 (△は減少)	9,963	12,641
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	7,527	7,052
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△10,298	5,727
受取利息及び受取配当金	△13,107	△9,552
助成金収入	—	△484
支払利息	32	35
有形固定資産売却損益 (△は益)	△21	1,896
有形固定資産除却損	467	260
売上債権の増減額 (△は増加)	△111,769	76,407
棚卸資産の増減額 (△は増加)	30,445	△48,883
仕入債務の増減額 (△は減少)	△8,507	9,671
その他	14,949	△64,264
小計	225,955	254,564
利息及び配当金の受取額	12,038	8,376
利息の支払額	△32	△36
法人税等の支払額	△42,137	△67,437
助成金の受取額	—	484
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>195,824</b>	<b>195,951</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△72,738	△92,638
有形固定資産の除却による支出	△791	△79
有形固定資産の売却による収入	21	1,350
無形固定資産の取得による支出	△1,276	△2,732
投資有価証券の払戻しによる収入	76	3,377
貸付けによる支出	△194	△286
貸付金の回収による収入	755	821
差入保証金の回収による収入	—	169
差入保証金の差入による支出	△145	△1
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△74,291</b>	<b>△90,019</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△39,513	△49,964
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△39,513</b>	<b>△49,964</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,093	6,150
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	76,924	62,118
現金及び現金同等物の期首残高	1,151,440	1,235,978
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,228,364	1,298,096

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、当該会計基準等の適用が四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	総合接着・ 樹脂加工	特殊設計 機械	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,516,902	259,911	1,776,814	—	1,776,814
セグメント間の内部 売上高又は振替高	55	6,750	6,805	△6,805	—
計	1,516,958	266,661	1,783,619	△6,805	1,776,814
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	254,623	△6,391	248,232	△24,785	223,447

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	248,232
セグメント間取引消去	9,780
全社費用(注)	△34,565
四半期連結損益計算書の営業利益	223,447

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	総合接着・ 樹脂加工	特殊設計 機械	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,499,958	314,367	1,814,325	—	1,814,325
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,499,958	314,367	1,814,325	—	1,814,325
セグメント利益又はセ グメント損失 (△)	250,053	△21,472	228,580	△37,405	191,175

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	228,580
セグメント間取引消去	1,470
全社費用（注）	△38,875
四半期連結損益計算書の営業利益	191,175

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。